

授業科目名	異文化理解と子育て	大学名	宇都宮共和大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	集中講義
学部・学科等	子ども生活学部	曜日	未定
必修・選択区分	選択	時限（時間）	未定
標準対象年次	3・4年生	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	宇都宮共和大学長坂キャンパス
担当教員名	星 順子		
電話番号（代表者名）	028-649-0511	e-mail アドレス	
オフィスアワー	特に設けず、電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p><授業の目標及びねらい> 多様化・多文化化が進む現代社会は、異なる背景を持つ他者と共存していく関係にあり、自他の「ちがいを認め合い、新たな関係を構築していく力が求められる。本講義では、異文化理解の知見を学び、異なる背景を持つ「子ども」が集まる保育施設や教育機関、子育て支援等の場で何が起きているのか、その現状や課題を捉えながら、これからの時代にふさわしい対応や実践を創造する力を身につけることを目指す。</p> <p><前提とする知識・経験> 特に必要としないが、「保育」や「子育て支援」に関心を持っていると望ましい。</p> <p><授業の具体的な進め方> 受講者の関心を基にプロジェクト型学習を行う。8週までの授業は、教員のガイダンスとともに、映像資料の視聴やゲストスピーカーの話題提供を基にした議論を行う。9週以降は、前半の内容を振り返りながら課題や問題を発見し、その解決に向けた対策や実践についての調査、ディスカッションを行い、プレゼンテーションにて成果を発表する。毎回の授業終了時には、コメントシートを提出しなければならない。</p> <p><授業計画> 第1週 オリエンテーション 異文化理解とは？ 第2週 多様化、多文化化の現状 第3週 文化とは何か 第4週 世界の価値観 「あたりまえ」を考える 第5週 異文化の認識 「ちがいに気づく 第6週 話題提供①外国人保護者(ムスリム)の声から 第7週 話題提供②外国人集住地域の保育施設の実践から 第8週 話題提供③異文化コミュニケーションとやさしい日本語 第9週 現状の整理と課題や問題の発見 第10週 解決策の検討、ディスカッション 第11週 調査内容の検討、ディスカッション 第12週 グループ調査、ディスカッション 第13週 調査内容、結果の要約 第14週 発表とまとめ 第15週 発表とまとめ</p> <p><教科書・参考書・教材と入手方法> 教科書：『保育者のための外国人保護者支援の本』咲間まり子、かもがわ出版、2020年 参考書：『保育所保育指針補編』（厚生労働省、フレーベル館、2018年）</p> <p><成績評価法> 授業中の取り組み（グループワークと発表）は20%、コメントシート（授業内容と自らの体験を踏まえて論じているか）は20%、最終レポート（執筆ルールに則り自分自身の考えを述べているか）は60%で評価する。10回以上出席しないと評価の対象としない。</p> <p><教員からのメッセージ> グループでの意見交換やワークを重視しているため、主体的な参加を求めます。就学前の子どもや保育に関心のある方々を歓迎します。</p>		